

## 高校第2学年国語科学習指導案

実施日：2024年8月3日

授業者：佐藤七葉

1 単元名 歌と伝承の関わりを理解しよう

2 教材名 「をばすて山（大和物語）」

3 対象学年 高校二年生

4 単元の目標

- ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。 [知識及び技能]
- ・古典作品に表れている人間や社会に対するものの見方を捉え、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 [C読むこと]
- ・古典作品に表れている人間や社会に対するものの見方を捉え、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとする。 [学びに向かう力、人間性等]

5 評価規準 (今回は省略)

6 生徒観 (今回は省略)

7 教材観

本教材は、平安前期に成立した「歌物語」の代表的な作品である「大和物語」からの出典である。同じく代表的な「伊勢物語」とは異なり、本作品は特定の主人公を持たず、雑然と歌にまつわる説話を集めたものであるという特徴がある。こうした違いを抑えつつ、日本文化や風習についての興味・関心を深めていく。

8 単元観

この「をばすて」は、「大和物語」の中でも伝承的性格が強いものとなっている。そこで、「語り」に注目し、同じ内容の他作品（「今昔物語集」）との比較を通して、語りが読者の読みにどのような影響を与えているのかを考える。

文法事項は既習事項が多いため、これまでの復習を中心として、間違いの多かったものを取り上げて復習する。

9 単元指導計画（全三時間）

時	主な学習活動	指導上の留意点	評価
---	--------	---------	----

1 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「大和物語」の概要を確認する</li> <li>・全文を音読し、概要をつかむ</li> <li>・「さしてむと思ひなりぬ」までを現代語訳する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○以前学んだ「伊勢物語」とのつながりを意識させる</li> <li>○主語を補いながら現代語訳を考えさせる</li> </ul>	
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「をば」が捨てられるにいたった経緯を確認する</li> <li>・全文を現代語訳する</li> <li>・「をば」を再び迎えに行くまでの「男」の心情について考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○内容を順序立てて整理する</li> <li>○作品の背景について資料を用いながら適宜説明する</li> <li>○歌に心情のクライマックスがあることに気づかせる</li> </ul>	<p><b>【読む能力】</b> 本文の読解に関わる古文単語、文法事項、敬語表現を基にし、桐壺の更衣を取り巻く人々の感情や、宮中の人間関係を的確に読み取っている。</p> <p><b>【知識理解】</b> 本文の読解に関わる古文単語、文法事項、敬語表現を理解している。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「今昔物語集」卷三十第九を読む</li> <li>・「大和物語」との語りの違いを確認する</li> <li>・両作品の成立時期を確認し、語りの違いによって読み手にどのような印象を与えるのかについて考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料を用いる</li> <li>○個人で考えた後、グループで話し合う</li> </ul>	<p><b>【関心・意欲・態度】</b> 互いに伝え合ったことや議論したことを踏まえ、考察しようとしている。</p>

## 10 本時案（1/3時間目）

	主な学習活動	○主な発問と指示 ・予想される生徒の反応	・指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大和物語の概要を確認する</li> <li>・本文を音読し、内容をつかむ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○すでに学習している「伊勢物語」とのつながりを意識させる</li> <li>・時代も近く「歌物語」として受け入れられてき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイントを使って視覚的に理解しやすくする</li> <li>・「なぐさめがた</li> </ul>

		<p>た。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「伊勢物語」とは違い、一貫した主人公はおらず、言い伝えや伝説が中心になっている</li> </ul> <p>○「姨捨山」が使われている歌は他にどのようなものがあるだろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月と一緒に詠まれている歌が多い</li> <li>・「心変わり」に対する悲しみの気持ちが読み取れる</li> </ul>	<p>い」という心情の具体的なイメージをつかみやすくする</p>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文を現代語訳する</li> </ul>	<p>○主語を明確にしながらか読解を行う</p> <p>○舞台となっている時代背景や信濃国の環境などの背景知識を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「嫁姑」の不仲は古代も現在も変わらないようである。</li> <li>・冷涼な気候である更級で老人を抱えて暮らすことは苦しかったに違いない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の間違えが多い文法事項を重点的に説明する</li> <li>・「嫁姑関係」や更級の気候が作品へどのような影響を及ぼしているのかを確かむ</li> </ul>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「をば」が捨てられるにいたった経緯を確認し、次回の授業へつなげる</li> </ul>	<p>○「男」が「をば」を捨ててしまうまでの経緯を確認しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代語で順序だてて説明できるようにする。</li> </ul>